

第 18 回

事業年度報告書

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日

NPO 法人

京都大原里づくり協会

NPO法人 京都大原里づくり協会

第18回(平成30年度)通常総会次第

と き 令和元年6月8日(土)午後3時

ところ 大原学院ふるさとルーム

1. 開 会

2. 理事長挨拶

3. 議長選出

4. 資格確認

5. 議案の審議

第1号議案：平成30年度事業報告 1～4

第2号議案：平成30年度収支決算報告・会計監査報告
. 5～8

第3号議案：令和元年度事業計画 9～11

第4号議案：令和元年度収支予算 12

その他

6. 議長退任

7. 閉 会

第 18 回 事 業 年 度 報 告 書

京都市左京区大原大長瀬町 179 番地
NPO法人 京都大原里づくり協会

業 務 報 告

【運営などに関する事項】

(1) 第 17 回通常総会(平成 29 年度)

総会における決議事項の要旨は次の通りです。

開催：平成 30 年 6 月 9 日(土)午後 3 時から午後 5 時

第 16 回通常総会を次の議題により開催しました。

(開催場所：大原学院・ふるさとルーム)

議題 1.平成 29 年度事業報告の承認について

本件は原案通り承認可決されました。

議題 2.平成 29 年度決算報告と会計監査報告について

本件は原案通り承認可決されました。

議題 3.平成 30 年度事業計画の承認について

本件は原案通り承認可決されました。

議題 4.平成 30 年度収支予算の承認について

本件は原案通り承認可決されました。

議題 5.役員改選

本件は原案通り承認可決されました。

(2) 会 員

今期中における会員の異動は、入会名 2 名、退会 10 名あり、期末現在数は個人正会員 58 人、団体正会員 10 人、個人賛助会員 7 人、団体賛助会員 2 名で、会員総数は 77 名です。

(3) 理事会等の開催

今期中における理事会及び専門委員会の活動回数は、次の通りです。

理事会 7 回

第 1 号議案（平成 30 年度事業報告）

1. 景観・環境保全事業の活動

(1) 親水公園他の清掃

- ① 環境美化クリーン作戦への参加(3 月 17 日)
- ② 親水公園 役場橋周辺の草刈、芝生の手入れ、不法投棄物の除去等（定例的に実施）

(2) 大原 10 名山登山会、登山道の整備、登山ポストの設置

- ① 登山道の整備活動は消防分団等他団体と連携実施しました。
- ② 大原 10 銘木案内看板は、昨年来の台風により破損、新しく 7 箇所について建替えました。

(3) 高野川の水質浄化活動(「大原地域ごみ減量推進会議」の活動)

- ① 使用済みてんぷら油の回収(毎月 1 回)
 - ・ 京都市環境政策局廃油回収リサイクル事業に参加し、大原地域内の 11ヶ所に回収ポイントを設置、月 1 回京都市より回収
 - ・ 平成 30 年度の回収実績は、年間 264 リットル(1ヶ月平均 22 リットル)
 - ・ 手作り廃油リサイクル石鹸の頒布は EM ラブ大原ネット、の活動をしていましたがメンバーの都合により 3 月末日をもって解散されました。
- ② 生ごみのコミュニティ堆肥化(平成 24 年 12 月より実施)
 - ・ 平成 30 年度は 35 世帯がファミリーマート大原三千院店に設置した生ごみ堆肥化装置に 573kg (1 か月 47.8 kg) 生ごみの持込がありました。

(4) 高野川の水質浄化活動の成果確認と子育て(環境教育)地域支援活動 (平成 17 年より継続中)

- ① 高野川の水生生物調査・・・大原学院の夏休み課外活動支援
実施日(7 月 26 日(金) 第 14 回調査実施 参加者数 60 名)
農水省の農地・水・環境保全向上対策助成で京都大学竹門准教授の指導
- ② 高野川源流の水質調査・・・大原学院のクラブ活動として継続
年 4 回実施(5 月、8 月、11 月、2 月)
(財)琵琶湖・淀川水質保全機構の支援調査事業に参加

(5) 大原モデルフォレスト活動の実施(平成 22 年より継続中)

- ① 新たな活動は実施していませんが、以前に実施した大原井出町、飯尾様

所有山林には約3年間にわたり植樹を実施しました。

② 前記山林の下刈りについては、事務局で実施しました。

(6) 左京ふれあいE C Oフェスタ開催 (3回目)

①左京区ごみ減量推進会議の主催で「もったいないをつなごう！」をテーマにフードドライブ、リユース市、リサイクルショップ等、衣類や図書、子どものおもちや等無料交換会が3月2日(土)左京区役所総合庁舎で開催されました。

今回で3回目を迎え、関心も高く約850名の区民が参加しました。

大原地域から里の駅大原物産展として「大原産の野菜や加工品、よもぎ餅お弁当」を販売し好評を得ました。

③ E C Oフェスタ開催に先だち、2月25日大原学区全域を対象にリユース品の回収を実施、多くの住民皆様の協力により、子供服・大人服・陶磁器等の持込がありました。

(7) 大原留学生助成金制度の運用について

平成28年度に年度発足した同制度について、今年度は該当者なしでした。

(8) 機関誌発行事業

- ・ 64号 夏季号 平成30年 7月発行
- ・ 65号 秋季号 平成30年 10月発行
- ・ 66号 新春号 平成31年 1月発行
- ・ 67号 春季号 平成31年 4月発行

(9) 平成30年度惟喬親王法要の実施 (主催・惟喬親王法要実行委員会)

- ・ 日 時 平成30年10月10日(水) 午前10時~12時迄
- ・ 会 場 勝林院本堂
- ・ 参加者 約70名
- ・ 開催場所 勝林院本堂
- ・ 講演会テーマ 雲ヶ畑における惟喬親王伝説
- ・ 講 師 波多野元三郎様

(10) 大原の史実・伝説の掘り起こし調査の実施

第6回 平成30年 8月19日 大長瀬町 9名

第7回 平成30年 10月28日 上野町 16名

第8回 平成30年 12月2日 戸寺町 8名

第9回 平成31年 1月27日 古知町 10名

*今後の予定、第10回小出石町、第11回8月百井町で一応本調査を終了

(12) 勝林院研究会、大原提言、明治・大正・昭和・平成記念アルバム計画

① 勝林院研究会 今年度は6回開催（里づくり会）

② 大人の大原提言 第一回大原提言には約60名が参加、その提案から新し
里づくりの方向が見えて来た、感じがします。

③ 大原の明治、大正、昭和、平成記念アルバム計画

住民の皆様が所蔵されている写真約2300枚余りの提供を受け、選定作業
を終え、今夏発行にむけて制作作業を進めています。

第2号議案

平成30年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録

平成30年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録

平成31年3月31日現在

特定非営利活動法人 京都大原里づくり協会

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
普通預金 JA大原支店	1,978,721		
普通預金・定額貯金 ゆうちょ銀行	1,091,476		
流動資産合計		3,070,197	
2 固定資産			
電話加入権 744局4141番	45,990		
固定資産合計		45,990	
資産合計			3,116,187
II 負債の部			
負債合計			0
正 味 財 産			3,116,187

平成30年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成31年3月31日現在

特定非営利活動法人 京都大原里づくり協会

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	3,070,197		
流動資産合計		3,070,197	
2 固定資産			
電話加入権	45,990		
固定資産合計		45,990	
資産合計			3,116,187
II 負債の部			
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		3,292,258	
当期正味財産増減額		△ 176,071	
正味財産合計			3,162,177
負債及び正味財産合計			3,116,187

平成30年度特定非営利活動に係る事業会計収支報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
(経常収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費収入	590,000	501,000	89,000
正会員会費収入	550,000	474,000	76,000
賛助会員会費収入	40,000	27,000	13,000
2 補助金等収入	300,000	109,553	190,447
補助金収入	200,000	109,553	90,447
賛助金収入	100,000	0	100,000
3 その他収入	40,000	40,020	△ 20
利息収入等	40,000	40,020	△ 20
経常収入合計	930,000	650,573	279,427
II 経常支出の部			
1 事業費	600,000	419,616	180,384
(1)観光農村育成事業	100,000	0	100,000
(2)景観・環境保全事業	300,000	299,506	494
(3)広報誌発行事業	150,000	120,110	29,890
(4)留学生奨学金	50,000	0	50,000
			0
2 管理費	540,000	407,028	132,972
会 議 費	20,000	14,395	5,605
通信運搬費	100,000	112,499	△ 12,499
広告宣伝費	5,000	751	4,249
消耗品費	5,000	0	5,000
修繕費	5,000	6372	△ 1,372
保険料	5,000	0	5,000
賃借料	200,000	180,720	19,280
事務用品費	100,000	80,222	19,778
雑 費	100,000	12,069	87,931
経常支出合計	1,140,000	826,644	313,356
経常収支差額	△ 210,000	△ 176,071	△ 33,929
III その他資金収入の部			
その他資金収入合計	0	0	0
IV その他資金支出の部			
予 備 費	20,000	0	20,000
その他資金支出合計	20,000	0	20,000
当期収支差額	△ 230,000	△ 176,071	
前期繰越正味財産額	3,292,258	3,292,258	0
次期繰越正味財産額	3,062,258	3,116,187	△ 53,929

以上のとおりであります

令和元年5月6日

NPO法人

京都大原里づくり協会

理事長 榎 並 博 一

副理事長 上 田 寿 一

常務理事 阪 後 武 史 (事務局長)

常務理事 高 倉 哲 法 (事業部長)

理 事 久 保 満

理 事 多 紀 穎 忍

理 事 藤 井 宏 全

理 事 西 田 誠

理 事 安 田 真

監査報告

以上の事項を監査した結果、正確かつ適法であることを確認します。

令和元年5月6日

監 事 中 林 義 夫

監 事 久 保 勝

【第3号議案】

令和元年度事業計画書

1.事業実施の方針

(1) 理事長就任4年目となりましたが、年号も平成から令和に変わったこの機会をチャンスととらえ、大原地域の発展、繁栄に貢献していく覚悟でございます。

当NPOミッション（社会的使命）従来からの環境（含む景観）保全と子育て支援を切口とした「里山を元気にする運動（大原モデルフォレスト運動）」を今年度も引き続き踏襲することとします。

昨年度から実施した、大原地域の歴史、伝統文化を今一度調査、研究する機会を設け、さらに将来にわたって遺産として残していく活動を住民の皆様と共に展開して行きたいと思っております。

(2) 我が国の地方創生時代要請も念頭に、持続可能な大原地域づくり活動として、京都市の「京都伝統文化の森推進協議会」に参加すべく、大原里山の森林整備推進による「山崩れ土砂災害防止対策、景観保全及び生物多様性」に繋げることを重点的に検討します。

特に、昨年秋に発生した台風等による案内標識の倒壊、破損については、他団体と協力、調査実施の上、修理、改修等を実施します。当会が設定した「大原10名山、10銘木」標識等についても、引き続き改修を実施します。

さらに、桜、もみじの植樹を行い観光地大原の景観を高めます。

(3) 地域の活性化の為、観光、農業、林業振興の為大原自治連合会他団体と協賛し活動を展開します。高齢者共生型まちづくり拠点施設づくりに参加します。

さらに、大原学院の「大原提言」大人の「大原提言」等将来発展につながる意見にも耳を傾け、地域の発展に貢献します。

2.重点事業とボランティア活動課題

(1)景観・環境保全と子育て支援事業

①モデルフォレスト運動の取組み

- ・ 森林・山村多面的機能発揮対策交付金を活用した従来から実施している啓発イベントは適当なフィールドが見つからないことから、従来の活動は一旦休止します。
- ・ なお、従来から継続している井出町、飯尾様山林については、継続実施

②大原創生会への参加協力

- ・ 榎並理事長を中心に参加

③カントリーウオークの整備と拡充

- ・ ぐるり大原の里カントリーマップの再整備発行

④高野川親水公園と観光湧水池の清掃

- ・ 環境美化クリーン作戦に参加（9月）
- ・ 親水公園草刈整備の実施

⑤大原10名登山会と登山道の整備

- ・ 他団体と協調の上実施

⑥大原学院への子育て(環境教育)地域支援活動の継続

- ・ 第14回、高野川水生生物調査実施予定
- ・ 実施予定日 7月26日(木)
- ・ 年間4回高野川水質調査は、大原学院クラブ活動として調査継続予定

⑦各種団体との協賛事業（上田副理事長関連催し）

- ・ 御香水 7月27日(土)
- ・ 東近江市惟喬親王祭参拝 7月15日(祝月)
- ・ 惟喬親王御遠忌法要 10月10日(木)

(2) 特別事業計画（30年度に引き続き実施）

①大原の史実・伝説の掘り起こし調査の実施

- ・ 大原で語り継がれてきた伝説、生活習慣、伝統行事、
- ・ 各町に残り、守り続けられている仏像、石碑、神社、史跡地名等について調査を行い、その内容は専門家を交えて研究、将来にわたって伝承していく活動を行う。

②各町内会に呼びかけ、昔から町内に残る伝統行事、しきたり等について調査研究に協力をお願いし、調査研究内容はまとめ、将来にわたって伝承する活動を行う。

- (3) 大原の明治、大正、昭和、平成記念アルバム発行
新たな元号「令和」の筋目に際し、「写真集」を発行します。
- (4) 大原勝手神社の祭礼復興と神輿の修復
過去において大原勝手神社で実施されていた祭礼と神輿の巡行に向けて地域住民、他団体と共に取り組んでまいります。(50万円の補助金を予定)

3.法人運営の基本方針

- (1)月1回の理事会と必要に応じ開催する臨時理事会を基本に運営します。
- (2)会員と地域住民に加えて、地域外住民のボランティア活動やイベントへの参加交流と対話をNPOの大きな活動目標とします。
- (3)大原自治連合会並びに各種団体との連携を常に心がけ、大原地域の活性化、持続可能な将来像の構築を目指します。
- (4)ホームページを活用して各種情報の提供を行い、各種団体との連絡を密にし、地域の情報を発信し、観光客の増加、活性化に寄与します。
また、大原に移住したい人の受け入れを推進協力する。
- (5)総会員目標数を100名とし、新たな会員の増加を図る。退会者の減少を図るため、魅力ある会の運営、活動に努める。

4.業務分担（抜粋）

- 榎並理事長・・・カントリーウオーク整備（桜並木保全他）
高野川河岸整備・大原創生の会への参加
- 上田副理事長・・・勝林院研究会・大原提言・運営
勝手神社神輿及び関連行事運営
- 高倉常務理事・・・景観環境保全、大原学院と高野川水生生物調査他
大原海外留学金助成金制度の運営
- 西田理事・・・「大原草紙」・大原明治、大正・昭和平成記念アルバム発行
- 久保満理事・・・登山ポスト登山道標識・カントリーウオーク整備

*事務局体制

- 竹腰幸司・・・(総会・理事会、会計管理担当)
*ホームページ・会員案内・総務事項
- 高倉有里・・・生ごみ回収堆肥化作業管理・大原ごみ減量会議

第4号議案

令和元年度収支予算

令和元年度特定非営利活動に係る事業会計収支予算書

平成31年 4月 1日から令和2年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	令和元年度予算額	30年度決算額	差 異
(経常収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費収入	430,000	501,000	△ 71,000
正会員会費収入	400,000	474,000	△ 74,000
賛助会員会費収入	30,000	27,000	3,000
2 補助金等収入	1,100,000	109,553	990,447
補助金収入	1,000,000	109,553	890,447
賛助金収入	100,000	0	100,000
3 その他収入	40,000	40,020	△ 20
利息収入等	40,000	40,020	△ 20
経常収入合計	1,570,000	650,573	919,427
II 経常支出の部			
1 事業費	1,500,000	419,616	1,080,384
(1) 記念アルバム・勝手神社	1,000,000	0	1,000,000
(2) 景観・環境保全事業	300,000	299,506	494
(3) 広報誌発行事業	150,000	120,110	29,890
(4) 留学生奨学金	50,000	0	50,000
2 管理費	540,000	407,028	132,972
会 議 費	20,000	14,395	15,775
通信運搬費	100,000	112,499	△ 12,499
広告宣伝費	5,000	751	4,249
消耗品費	5,000	0	5,000
修 繕 費	5,000	6372	△ 1,372
保 険 料	5,000	0	5,000
賃 借 料	200,000	180,720	19,280
事務用品費	100,000	80,222	19,778
雑 費	100,000	12,069	87,931
経常支出合計	2,040,000	826,644	1,213,356
経常収支差額	△ 470,000	△ 176,071	△ 12,289
III その他資金収入の部			
その他資金収入合計	0	0	0
IV その他資金支出の部			
予備費	20,000	0	20,000
その他資金支出合計	20,000	0	20,000
当期収支差額	△ 490,000	△ 176,071	△ 313,929
前期繰越正味財産額	3,116,187	3,292,258	△ 176,071
次期繰越正味財産額	2,626,187	3,116,187	△ 490,000

NPO法人 京都大原里づくり協会

役員名簿

平成30年6月9日選任

顧問	土井孝雄
顧問	和田野光彦
理事長	榎並博一
副理事長	上田寿一
常務理事	阪後武史
常務理事	高倉哲法 (事業部長)
理事	久保満
理事	多紀颯忍
理事	藤井宏全
理事	西田誠
理事	安田真
監事	久保勝
監事	中林義夫

任期：平成30年6月9日～平成32年5月通常総会終了のとき)

*常務理事阪後武史は都合により、本日の総会終了後退任